

地区自治会連合会数	22
自治会数	593
加入世帯数	180,211 世帯
班（組）数	12,138
H.22. 4. 1 現在	



★相模原市の未来について★

自治会長と市長が語る会が開催されました!!

市の将来構想や地域の諸課題などについて、地域活動の中心的な役割を担っている自治会長と市長が意見交換を行なう場として、市自治会連合会と市との共同開催により、10月下旬から11月下旬にかけて、各区2回・3会場において計5回（緑区1会場は台風により中止）「自治会長と市長が語る会」を開催しました。

最初に市長が、政令指定都市に移行して半年を経過したこれまでの状況、福祉や、保健、教育、環境、都市基盤整備など様々な分野にわたり「相模原市の将来構想」の話しをされ、その後、区ごとの課題や取り組みについて話しをしました。

市長のお話の後には、参加した自治会長が、基本テーマである「相模原市の未来を考える」をもとに、交通や基地、財政、福祉などの問題や、自治会加入促進に向けた市の取り組みなどについて意見を述べ、市長の意見や思いを聞くことができました。

地域の絆が地域を守る



災害に備えて...



東北関東大震災により、多くの方の尊い命と住みなれたまちが失われ、現在においても避難所生活を余儀なくされるなど、安全・安心であるべき人々の日常生活に大きな混乱と支障が生じています。

被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を願い、われわれ自治会としても義援金をはじめ、できる限りの支援を行なってまいりたいと考えております。

今回の震災では、改めて自然災害の恐ろしさを痛感するとともに、備えと助け合いなど、日頃からの地域の絆が非常に重要であることを知ることとなりました。

万が一の災害発生時には、日頃からの訓練と情報や知識の共有により、地域の連携による、冷静で的確な対応が重要となります。これらの活動への、皆様の更なる参加により、地域における防災意識の共有・向上を図っていきましょう!!

高橋 作治	小松 信夫	志田 紀子	島野 一朗	山口 信郎	木曾弥三郎	大野北	成瀬 忠	大谷 教明	原 清	渡邊 高良	橋 本	畠山 清一	光が丘	横田 智治	星が丘	市川 朋宏	横 山	山口 明	濱田 昌夫	清 新	赤松 徹	小 山
	山本 文夫	萩原 忠男	田邊 輝夫	齋藤 勇	榎本 喜尉	大野中	岩瀬 稔美	麻 溝	松崎 正	森 照生	佐藤 勝	井口 義春	小佐川 明	辻本 昭	大野喜久子	大野南	伊藤 勝昭	細谷 省吾	大野中	齋藤 健吉	守屋 榮一	相模台
富山 一三	藤 野	澤塚 正史	石井 孝之	石川 幸夫	相模湖	津久井	小野沢信昭	長島 喜六	小侯 政満	中戸川敏彦	赤木 勤	藤井 保	城 山	火ノ川二三	鈴木 博雄	東 林	北島 亨	栗飯原史憲	森 芳夫	坂本 堯則		

この表彰は、長年にわたり自治会活動に従事され、心のかよいあう明るいまちづくりの推進、地域の福祉向上に寄与された方に、相模原市がそのご尽力に対して感謝の意を表すものです。

22地区の各自治会連合会から推薦された52名の方が市長から感謝状の贈呈を受けました。

受賞者は次の方々です。（敬称略）

12月9日（木）、市自治会連合会主催による『市政を話し合う会』が市役所で開かれ、加山市長、副市長、教育長等と本会役員・理事（22名）との意見交換を行いました。

懇談では、「基地問題」「消防団の担い手」「相模原市の今後の広域交通網」など、これまで自治会として、また市としても課題となっていることや、政令指定都市移行後の「近隣市との広域連携の回り方」や、様々な地域活動をより活性化する上でポイントとなる「地域活性化事業交付金」等について、市長との活発な意見交換を行うことができました。

『市政を話し合う会』が開かれました

『自治会活動功労者感謝状贈呈式』

平成22年度自治会活動功労者感謝状贈呈式が、平成23年2月5日（土）、相模原市民会館で行われました。



受賞者の皆さん

今年度、22箇所で開催地区まちづくり懇談会を開催！！

自治会が中心となるまちづくり会議と相模原市が情報を共有し、地区のまちづくりを協働して考え、住みよいまちづくりを推進するための意見交換の場として「地区まちづくり懇談会」が地区で開催され、活発な議論が交わされました。

地 区 (開催日)	議 題 名
大 沢 8/5 (木)	1 神沢周辺の防犯・防災対策について 2 高齢者への市民相談について 3 ひとり暮らしの高齢者等の情報について
大野中 8/10 (火)	1 東清掃事業所の跡地利用について 2 大野台地区への交番設置について 3 木もれびの森の保全と活用について 4 大沼交差点拡幅部の早期使用について
東 林 8/12 (木)	1 小田急江ノ島線相模大野2号踏切の拡幅について 2 上鶴間4・7丁目境交差点（上鶴間小・中）の安全対策について 3 ふれあい広場の維持管理について 4 防犯・防災上、心配される空き家について
藤 野 8/21 (土)	1 地域に根ざした、より現実在即した防災計画等について 2 陣馬山頂へのトイレ整備について 3 八王子との広域証明サービス事業の具体化について 4 藤野地区内の道路整備及び周辺環境の整備について 5 地域事情にあった公共施設の有効活用について 6 小学校放課後と学校休業中の児童の安全な居場所づくりについて 7 藤野駅周辺の公営駐車場の充実について 8 藤野地区のまちづくりについて 9 水源地の森林資源の活用による地域活性化と森林の保全について
津久井 8/28 (土)	1 鳥屋地区内の県道等改良整備促進について 2 青野原地域の活性化事業について 3 道志導水路の約束事項の完全実施の時期について 4 津久井湖周辺地域の生活排水処理対策について 5 道志川下流域に於ける振興策の推進について 6 串川地区のまちづくりについて 7 その他 当日追加で出された議題 ① 中野公園の整備等について ② 森林への抜本的な対策等について ③ 公共交通網の整備促進について ④ 残土処分場建設問題について ⑤ 線引きについて ⑥ 部門別計画等の市民への反映について ⑦ 生活道路や津久井湖周遊歩道の整備について
城 山 10/2 (土)	1 道の駅の開設に向けた具体的な取り組みについて 2 市の「環境保全」に対する基本的な姿勢について 3 城山地区にもニュースポーツ広場をについて 4 歩行者が安全に通行できる歩道整備について 5 公共交通機関の撤退に伴う問題点及び調整区域の人口減少対策について
橋 本 10/4 (月)	1 連絡所等の設置について 2 防犯対策について 3 不法投棄防止について 4 多目的に使える小型子どもセンターの整備について

地 区 (開催日)	議 題 名
相模湖 10/7 (木)	1 地域で子育て・子育てを支える環境づくりについて 2 地域内高齢者の（仮称）「見守りネットワークづくり」について 3 県道515号（三井・相模湖）の整備について 4 相模湖観光の活性化策として、「高尾山ハイカーを相模湖エリアに誘導するための魅力づくり」について 5 その他 当日追加で出された議題 ① 帝京大学移転後の跡地利用について
星が丘 10/12 (火)	1 市民体育祭に代わるスポーツの祭典の開催について 2 街路樹の維持管理について 3 地区計画制度に係る行政の支援の検討について 4 横山公園における駐車施設の効率的な利用について
中 央 10/13 (水)	1 矢部駅周辺への交番の設置について 2 歩道と車道の段差解消と整備について 3 その他 当日追加で出された議題 ① 防犯灯設置費補助金の地区連配分予算の増額について ② 学校区と自治会の避難所区域の整合について ③ 集中豪雨50ミリ以上の場合の排水状況について
麻 溝 10/14 (木)	1 麻溝地区の交通課題について（1）～幹線道路の整備等～ 2 麻溝地区の交通課題について（2）～生活道路対策～ 3 麻溝まちづくりセンター・公民館、小学校の大規模改修について 4 その他 当日追加で出された議題 ① 内コンビニエンスストア全店にAEDの設置を推進してほしいについて
相模台 10/15 (金)	1 相模大野駅北口からのバス路線のうち「みゆき台団地」行きバスを「国立相模原病院」まで、もしくは、「小田急相模原駅」までの延伸をバス事業者へ要望をしてほしいについて 2 相模台中学校の防災用備蓄倉庫の新設について 3 公民館・まちづくりセンターの移設整備について 4 その他 当日追加で出された議題 ①県道52号の拡幅整備について ②小学校の空き教室の状況について ③麻溝台・新磯野地区土地区画整理事業について ④ふれあいセンターについて ⑤商店街の活性化に対する介護予算の活用について ⑥地域でケアをする独居高齢者などの個人情報の取扱いについて ⑦河川敷利用者のマナー向上について ⑧米軍相模原住宅地区の外周壁工事について
田 名 10/18 (月)	1 田名地区における公共交通整備について 2 望地の国有地及び水田地帯の親水公園整備等について
清 新 10/19 (火)	1 JR南橋本駅周辺整備事業について 2 清新公民館駐車場整備について 3 相模原市職員の地域活動への参加要請について 4 旧法務省官舎跡地の有効活用について

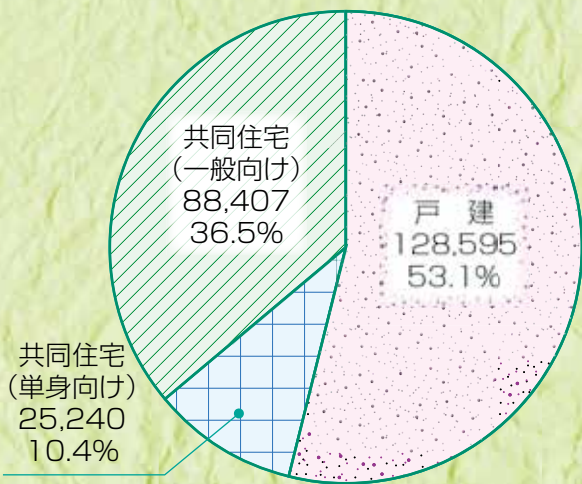
地 区 (開催日)	議 題 名
横 山 10/20 (水)	1 自治会未加入者に対する加入促進の取り組み等について 2 横山地区内のバス路線整備に対する市の取り組みについて 3 その他 当日追加で出された議題 ① 現県営横山団地集会所の存続等について
上 溝 10/21 (木)	1 旧食肉公社跡地の土地利用について 2 県道508号（厚木城山）の拡幅整備ほかについて 3 虹吹地区への郵便ポストの設置について 4 今後の地区のまちづくりの進め方について
新 磯 10/22 (金)	1 歩行者に優しい県道46号相模原茅ヶ崎の整備促進について 2 市道磯部勝坂のJR相模線ガード東側部分について 3 磯部20号の歩道整備について 4 JR相模線相武台下駅及び周辺のバリアフリー化について 5 旧県立新磯高等学校跡地の活用及び維持管理について 6 史跡勝坂遺跡公園下段及び鳩川の一体となった整備について
大野南 10/25 (月)	1 既存の「任意の団体」への支援の強化について 2 まちづくりの障害となる住環境の悪化への市の対応について（空家対策） 3 上鶴間本町4丁目、5丁目、6丁目及び8丁目を通るバス路線の開設について 4 大野南地区に誰にでも誇れる社会福祉の総合拠点の設置について 5 さがみはらネットワークシステム（公共施設予約サービス）の改善について
大野北 10/26 (火)	1 旧県立相模原高等職業技術校周辺の防犯対策について 2 市道淵野辺境橋の安全対策について 3 青少年の健全育成について 4 その他 当日追加で出された議題 ① シティセールスについて
小 山 10/27 (水)	1 小山地区の相模総合補給廠に関わる全体開発計画について 2 宮下地区の道路整備の促進状況について 3 相模総合補給廠の西側・南側のフェンス沿い歩道の自転車と歩行者の通行区分ライン等の表示による安全確保について 4 相模原駅前公園周辺及び「氷川通り」と「さんば通り」の樹木剪定について 5 小山公民館の増改築計画について
光が丘 10/28 (木)	1 県立相模原工業技術高校跡地の有効活用及び公共施設の県市合築について 2 地域自主防災隊による消火栓使用について 3 光が丘公民館大規模改修工事早期着工について
相武台 10/29 (金)	1 市道相武台47号のバリアフリー型歩道への整備促進及びキャンプ座間ゴルフ場側道の相互利用について 2 小田急相武台前駅近隣地区の側溝整備について 3 相武台まちづくり会議における「まちづくり区域」について 4 相武台まちづくりセンター・公民館の移転について

平成21年度

自治会加入状況実態調査の結果について

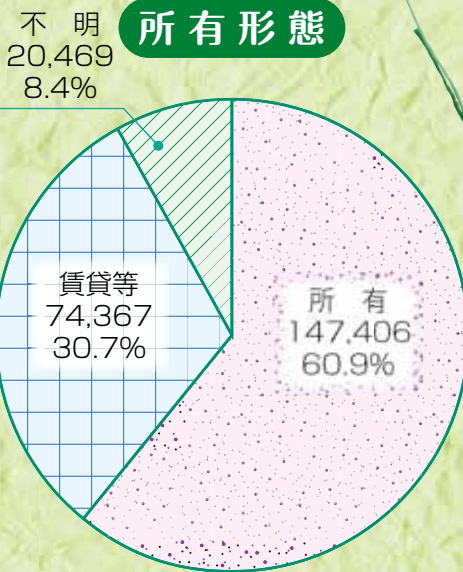
昨年度の市自治会連合会事業計画に基づき実施いたしました「自治会加入状況実態調査」につきましては、各地区自治会連合会を通じ単位自治会の会長や班長（組長）等の皆様のご理解とご協力により、下記のとおり「平成21年度自治会加入状況実態調査結果報告書（一部）」として取りまとめることができましたので、報告をさせていただきます。
調査にあたりましては、年度末の大変お忙しい中、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

建物形態



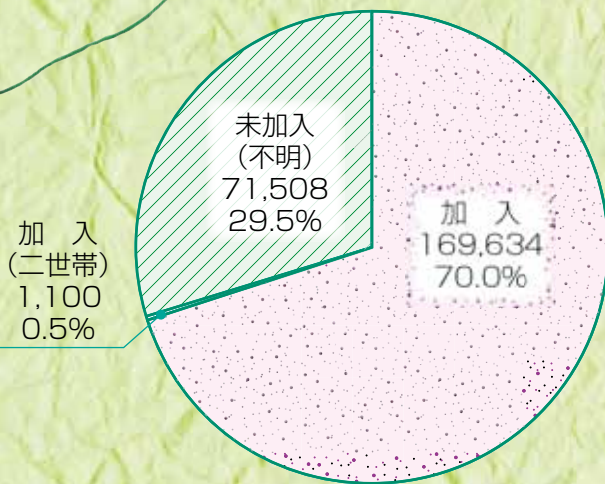
戸建住宅と共同住宅はほぼ半々で、マンション等の建設が進み、共同住宅が半数近くを占めてきていることがわかる。また、地域により戸建ての率が30%台～90%超と差がでている。

所有形態



持ち家は全体では6割程度である。持ち家率と自治会加入率が比例している地区が多い。

自治会加入状況



実態調査では二世帯での加入を含めると加入率は70%となっている。このことから、持ち家でない世帯も相当数自治会に加入していることがわかるが、更なる加入促進策の検討が課題である。

この調査は、自治会加入率が減少傾向にあることから、加入状況等の実態を把握し、加入率の向上策を検討することを目的として実施したものであり、調査結果を基に、連合会としても組織部会（現総務部会）において加入率の向上に向けた検討を進めております。
各地区自治会連合会及び単位自治会におかれましても、加入率の向上に向けた取り組みにおいて、本調査結果をご活用いただければ幸いに存じます。

人物紹介

48

この欄では、各界で活躍される方を紹介しています。が、今回は、大野北地区にお住まいの「石井 肇（たかむら）」さんです。

石井さんは、過去から現在の大野北地区をはじめ、相模原市の写真や行政データをお持ちになり、相模原郷土懇話会の会長や至る所でボランティアとして、活動をされております。

その写真やデータを基に「大野北公民館創立50周年記念誌」「相模原市日中交流協会創立30周年記念誌」等の編集・発行にも携わってこられました。

今回は大野北の石井さんのお話を伺いました。



石井さん

大野北にはずっと生まれ、育ち、暮らしています。

私は、生まれも育ちも大野北地区の淵野辺本町で、相模原と一緒に年を重ねてまいりました。私の活動の源ですが、私は、相模原市が大好きです。

これからも、相模原市と一緒に、時代の移り変わりを生かしていきたいと思っています。

自治会活動はされていますか？

自治会では、班長や会計をさせていただいたことがあります。現在は、老人クラブでの活動にも参加しております。

現在どのような活動をしていますか？

相模原市の歴史を知ってもらうため、写真や行政データにより、郷土史や記念誌等の編集から発行に携わっております。

現在、取り組んでいるのは、大野北地区の地域活性化事業交付金を頂いて郷土誌「大野北地域誌 私達のまち」（今年度発行予定）の編集を委員10名で行っております。

この地域誌は、地域の方はもちろんの事、大野北地区の学校の先生からも、「子ども達に地域の歴史を教えたい」と強い要望もありましたので、子ども達にも分かるように、地域の人口16人から、住んでみて感じた事をインタビューし、そのコメントを掲載します。

※地域誌掲載事項

地域の歴史、史跡、民話、景観・今昔写真など

活動をjして、最も大変だったことは何ですか？

なにより留意が必要なのが、データの信憑性となります。年表を掲載する際にも、時代背景やイメージがわくように写真やデータを掲載しますが、昔のデータを掲載することが多いため、とにかく調査が難しい

ものになります。

しかし、自分でも初めて見たデータや、写真も出てきますので、その喜びは格別です。読まれた方も面白いと感じたり、なつかしい写真に対しての、感想をいただいたときは、大変喜びを感じます。

今後の抱負は？

相模原市に住んでいる皆さんに、相模原市を愛してほしいと強く感じております。相模原市全体を愛するためには、自分の近隣だけではなく、各地域の交流が大事です。

私は城山の歴史の会や、藤野の里山クラブと交流を図っておりますが、その地域と人を知ることにより、その記憶が思い出となり地図上でしか知らなかったことを、本当の意味で知ることができると感じます。

私達の作成をする郷土誌や記念誌が、皆様の知たという気持ちのきっかけになればと思っております。

推薦者の声

石井さんの、相模原市の膨大な写真や、年表を拝見した際に、懐かしさと知らなかつた事を知る喜びを交互に感じたのを今でも覚えております。このような感覚を、皆さんに感じていただきたいと思い、地域活性化事業交付金を活用し地域誌の作成を依頼させていただきました。今後も更なる活躍を期待しています。

「災害に強いまちづくり」
を目指して

星が丘地区自治会連合会
会長 野中 保

星が丘地区自治会連合会では、平成9年度から夜間防災訓練を実施しております。都市化が進んだ本市において、大規模な地震等が発生した場合は、甚大な被害がもたらされる可能性も否定できません。

政令市となった今年度からは、各区役所に防災本部が設けられると聞いておりますが、防災対策は、行政だけでなく実施できるものではないこと



自主防災組織

は、先の震災でも証明済みです。我々市民が、日頃から適切な判断力、的確な行動力を身につけることが極めて重要で、このように自治会を中心とした自主防災組織のメンバーによる、相互に協力する地域独自の実践的な訓練が、非常に有意義であると自負しております。



夜間防災訓練

今後も、関係の皆様には、地域住民が安心して暮らせるまちづくりへのお力添えをいたたくとともに、自治会活動に積極的な方にも、各種の訓練に積極的にご参加いただき、一緒に地域防災力の向上に努めていただけるようお願いいたします。

光が丘地区自治会連合会
創立30周年によせて

光が丘地区自治会連合会
会長 平林 清

光が丘地区自治会連合会は、中央地区自治会連合会会員の増大により、昭和56年に公民館区ごとに6分割されて誕生しました。

今年度で30周年を迎えることから、11月14日に記念式典並びに祝賀会を青葉小学校体育館で開催しました。

御来賓、歴代自治会長など総勢200名弱の参加を得て、有意義な祝賀会となりました。

光が丘地区は、昭和40～50年代に多くの住民が移り住んだ新しいまちで、地区のなりたちから、まちづくりの価値観が共有しやすく住民が地域活動に協力的です。



創立 30 周年記念式典

「わが町フェスタ」を開催しました。

中学校での防災訓練、交通安全キャンペーン、防犯パトロール、地区社会福祉協議会主催のふれあい交流会など様々な事業を実施しています。さらに、自主自立のまちづくりを実現してもらうため、地域活性化事業交付金を活用して11月23日に洲野辺公園で

相模台地区の新しい
試みについて

相模台地区自治会連合会
会長 坂本 堯則

今年度は、相模台地区として新しい試みを2つ行いました。

ひとつが、避難所運営協議会意見交換会の開催です。相模台地区は28の単位自治会に対して避難所は7箇所あり、運営に関しては、避難所ごとに関係する自治会や学校、市職員が集まり訓練等を独自に行っています。

しかし、実際の災害時に避難所が円滑に移動できるか？という不安を抱えています。このような現場の問題点や課題を情報交換するために本年度は7避難所代表者全体で避難所運営協議会意見交換会を開催しました。

各代表者からは訓練状況を報告、防災専門員からは、新しい組織み形態や避難所と連合防災隊の関係などが説明されました。



避難所運営協議会

「マニュアルなども与えられたものではなく、避難所独自のマニュアルを作成してリーダーが不在の際にも対応できるシステムを作っておくことが必要である」「実際に災害が起きた時には、近隣自治会や避難所の相互の助け合いなども必要になる」などの意見が出され、お互い情報交換と人的な交流が出来たことは有意義なことであったと思っております。

もうひとつは高齢者の見守り活動についての取り組みです。相模台地区は市の中でも高齢者の多い地区であります。介護を必要としている方については、地域包括支援セ

むかし
昔
No.46

三十年経ちました

清新地区

自治会連合会会長
佐藤 彰夫

であったので地域の発展が阻害されてきました。昭和の代となつて、戦前の軍都計画、それを引き継いだ都市計画により、大規模な区画整理事業が行なわれ、国道

16号線を中心とする現在のまちの基本ができあがりました。この時の日本軍の軍事施設が、現在の米軍相模補給廠として、現在に至っております。

その間、向陽小学校の清新分校が開校（昭和29年 翌年清新小学校として独立）そして、全国一のマンモス校となつた清新小学校の規模適正化を図るため、小



清兵衛新田開墾記念碑

山小学校が開校（平成19年）するといったように清新地区の児童数の増加に応じ小学校が開校してきました。自治会においては、昭和56年



橋本小山ふれあい立体開通式

に、中央地区自治会連合会が6分割されて、小山、清新、横山、中央、星が丘、光が丘の各自治会連合会が誕生し、それぞれが特色ある地域作り



橋本小山ふれあい立体

へと邁進することになりました。自治会を育ててくれた先人への思いをはせると、人口増による分割・分離の歴史であり苦労が偲ばれます。

今年度は、清新地区自治会連合会が発足し30年という記念すべき年を迎えます。

清新地区の人口も約3万人、自治会加入世帯も約6500世帯といったように、人の住めない地域が、多くの人が住む住居地域へと変化した姿を見るにつけても今後の発展は、現在に生きる私たちが力を合わ

せて生活環境向上へ進めて行かなければと決意を新たにしています。

地域防災訓練、
避難所運営協議会訓練

東林地区自治会連合会
会長 金子 匡甫

東林地区自治会連合会では、平成12年から毎年9月に「地域防災訓練」を実施して

おり、会場は地区内5カ所の小・中学校の輪番とし、毎年各自治会からの500人を超える住民が、消火、救助、給水、炊き出し等の訓練を意欲的に行っています。

また、平成20年度には、地区内5カ所の小・中学校全てに「避難所運営協議会」を設立し、地域防災訓練の際に全避難所運営協議会の合同訓練も合わせて行うほか、各避難所運営協議会は、11月と2月に個別の訓練を行っています。

さらに、本年度には、各避難所の備蓄倉庫に棚を設置する等により



地域防災訓練

で、自治会長が地域の民生委員や老人クラブ、ボランティア団体など関係者にお声掛けして、お互いの情報を交換する場作りを推奨し、なるべく多くの高齢者を見守る事ができるような仕組み作りを努めています。

必要な物品が一目で分かるように整理しました。

このような活動は、防災に対する住民の意識が高いことはもちろんですが、防災専門員や各避難所を担当する市職員の皆さんの熱心さにも助けられています。

今後も、いざという時に、できるだけ右往左往しなくて済むよう、地域を挙げて防災対策に取り組んでいきたいと思

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。

自治会・地域での様々な活動、話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせは、相模原市自治会連合会事務局

（042-753-3419）
E-mail: info@sagamihara-jchiren.jp

自治会報さがみはら
編集委員

- 鯉登 茂 河本 博 (橋本)
- 有泉 健一 加藤 純久 (大野南)
- 青木 利明 会田 昌弘 (相模湖)
- 須賀 仲男 木曾 雄吉 (相模湖)
- 小林 勉 八木 球貴 (相模湖)
- 小林 満 (相模湖)